

悩んだ時間も進路選択の糧に 研究者として着実に成長したい

二神加奈恵さん

FUTAGAMI KANAE

勇心酒造株式会社
研究開発部
研究開発グループ

▶ 地元・香川県で、研究者として長く働きたい

「香川でなら肩肘張らず自分らしくいられる」と就職を機に帰郷。研究職として長く働きたいという思いがあり勇心酒造に入社しました。化粧品という身近な製品ならお客様の立場に立って開発ができるし、自分自身もワクワクしながら研究に取り組みると感じたためです。また、地方の会社ながら新しい効能・効果を持った成分を積極的に世に出していこう、という矜持がありその社風に惹かれたのも入社を決め手でした。職務内容は研究と広告表示チェックの2つ。前者は振られたテーマに応じて研究を進め、後者は媒体やルールに応じた表記を確認し提案する仕事です。



▶ 日々の着実な進歩がやりがい

研究を進めるときは、売り出し方や他社との差別化を考え、仮説を立てて実験を重ねます。入社1年目から研究プロジェクトを立ち上げることもあり、能動的に動いて結果が出ることに達成感を感じます。実は学生時代から実験があまり得意ではないのですが、そんな自分でも日々着実にできることが増えている、という実感がモチベーションにつながっています。今後は後輩たちが困ったり悩んだりしたときに優しく支える、みんなの受け皿のような先輩になりたいと思います。

▶ 理系選択の原点は幼い頃の体験

高校2年生の時は何となく理系を選んだつもりでしたが、今振り返ってみれば、幼少期の自然豊かな体験が原点だったのかもしれない。いつも身近な動植物を観察しては、その多様で合理的な姿を不思議に感じていました。そこで、大学進学時には研究対象の幅広い資源生物科学科を選択。大学生活は楽しみだった反面、悩んだ時期でもありました。自分の強みが分からず悶々と悩んだり、悩む時間自体がムダに思えたり…。しかし、そうやってじっくりと自分の長短に向き合えた時間が、今の選択に活きていると思います。

Profile

香川県生まれ。動植物の成り立ちに興味があり、京都大学農学部資源生物科学科に入学。その後同大学院に進学し、とうもろこしの農業耐性遺伝子の表現型の変異について研究。卒業後、2020年4月に勇心酒造株式会社入社。研究開発部研究開発グループにて勤務（現職）。

▶ 友人とアウトドアを満喫

友人とグランピングに出かけたり、スポーツをして身体を動かしたりするのが楽しみです。職場の人間関係は良好で、休日には同僚と一緒に遊びに行くこともあります。



中高生へのメッセージ

悩みたいときにはとことん悩んでください。その時間はきっと将来につながります。そして、何かやりたいことが見つかったときに「今の自分では能力が足りないかも」と遠慮しないこと。例えば、私には実験に必要な器用さが足りないと感じていましたが、深く考えて本質を見抜くという点は研究向きだと気づきました。何ごとも固定観念で諦めてしまわず、まずは挑戦してみてください。

勇心酒造株式会社

1854年、宇多津町で酒造会社として創業した米の総合利用研究企業。「ライスパワーエキス」の研究開発に取り組み、1993年より綾川町に移転。同成分を配合した化粧品・医薬部外品、米醸造発酵製品、清酒などを幅広く手がける。